

新むつ小川原株式会社は、むつ小川原開発地区及び周辺の現在の姿や立地企業・団体の活動について皆様にお伝えするため、視察いただいた方々の感想や立地企業からの近況報告などを掲載した「むつ小川原だより」を発信しております。

第4回目はナオヨシ株式会社の井ノ瀬広和 代表取締役および株式会社あおもり花工房の横町芳隆 代表取締役からの寄稿をお届けいたします。井ノ瀬様はデータセンターの運営を、横町様は花卉栽培の事業を2020年夏より六ヶ所村で手がけられています。

### 【寄稿】「六ヶ所村におけるデータセンター事業開始にあたって」 ナオヨシ株式会社 井ノ瀬広和 代表取締役

はじめまして、ナオヨシ株式会社の代表取締役を務めております、井ノ瀬と申します。昨年8月に六ヶ所村でのデータセンター事業を事業譲渡頂き、本社所在地は青森市に、データセンターをむつ小川原開発地区で運営しております。現在は以前のお客様を引き継ぎながら、新規顧客の開拓と受託活動を行っております。新むつ小川原株式会社の皆様よりサポートを頂きながら、むつ小川原開発地区に貢献できるよう努めていきたいと考えております。

今回初めてむつ小川原開発地区を訪問させて頂いた際、「日本のエネルギー政策の1丁目1番地」を目の当たりにしたことは、事業取得の決断をした理由の一つとなりました。当データセンターはむつ小川原開発地区の安定した電源供給能力は当然のことながら、低い災害リスク、広大な敷地による拡張性、そして何より冷涼な気候を利用した外気冷房に加え、冬期に雪山を作り断熱保持することで、真夏期に雪山から融ける冷水を空調に利用する雪冰冷房というエコシステムも備えており、将来に向かって発展性のある本事業に参画させて頂くことは意義があるという結論に至りました。

弊社グループは物流を中心とした企業体ですが、物流のデジタルトランスフォーメーションを進めていく中でも、EDI (Electric Data Interchange) などの電子データのやり取りは今後ますます増え、倉庫管理システムのクラウド化、トラックの自動運転、AIを活用した安定在庫水準の設定などの取り組みを進め



(写真) ナオヨシ株式会社 井ノ瀬広和 代表取締役

ることは必須です。社会に必要なインフラとして物流機能を安定的かつ効率的に提供していくには、デジタルトランスフォーメーションが不可欠であると考えております。そのような方向性の中心としてデータセンター事業が位置していくと思われま。

さて、今回のご縁で頻りに青森県へ足を運ぶことになりましたが、訪問する度に実感するのは青森県の食の豊かさです。弊社のメンバーも青森県に向かう際はウキウキしているのが伝わってきます。たくさん種類の日本酒、季節ごとに輝きを放つ海の幸、関東ではなかなかお目にかかれないネマガリダケや雪にんじんなどの山の幸、どれをとっても素晴らしく、食欲が尽きません。その中でも私がどっぷりハマってしまったのは、煮干しラーメンです。年齢的にも脂っこいものが得意で



はなくなってきたのですが、煮干しラーメンはそれほど罪悪感なく、するすると胃袋の中に収まってしまいます。店によってもそれぞれ拘りによる違いがあり、今回はどのお店に行こうかと、青森県に向かう道中でお店を調べている間もまた至福の時であります。

この可能性と魅力を兼ね備えた青森県で事業をさせて頂けることは、弊社にとっても大きな機会を頂いたと思っており、今後皆様との交流を通してより大きく成長して行きたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

**【寄稿】「花のある暮らしと華のある人生を」  
株式会社あおり花工房 横町芳隆 代表取締役**

「株式会社あおり花工房」は、花をつくる会社です。そして花のある日常を提案し心地よい生活を応援することを目的に、八戸中央青果のグループ会社として、2020年6月に設立したばかりの会社で「株式会社フローリテックジャパン」の花卉栽培事業と従業員全員の雇用を引き継ぎ、六ヶ所村の誘致企業として認定を受けました。

当社は、青森県に根差した企業となることを願い、また、青森県民に愛され親しまれる企業となることを望みとして、社名に「あおり」という冠を付けました。

「花のある暮らしと華のある人生を」をモットーとして、暮らしの中に花のある場面を増やすこと、新たな出番や新しい需要をつくることを主眼として、人々が笑顔あふれる日常を過ごしてもらいたいと心から念じて、六ヶ所村から全国の皆様へ当社の自慢の花々をお届けしたいと思っています。

折しも2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの自粛などで、花の需要は一段と落ち込み、生花業界は大変厳しい状況にあります。人々の暮らしの中にこれ以上「花」の登場が少なくなるとは、社会全体がもっと息苦しく生きづらくなるのではないのでしょうか。

当社は人々の心の環境づくりに貢献できる企業でありたいと思うのです。花を見ては、嗅いで、感じては、心が癒やされます。花を



(写真) 株式会社あおり花工房 横町芳隆 代表取締役

飾る、贈る、育てるとき、心が満たされるものです。私たちは、花と緑が持っている不思議なそして素晴らしい力を信じています。そして、潤いのある豊かな社会づくり、彩りのある美しい社会づくり、安らぎのある穏やかな社会づくりを事業理念として花卉栽培に取り組んでいます。

更に新しい流通形態にも挑戦していきます。鉢から切り取ったバラを透明なビニールでペットボトル状に袋詰めし「エアローズ」という商品名で発売する計画です。従来の生花店以外にコンビニエンスストアや文具店、ケーキ店などで気軽に購入できるようにして、花を日常生活に浸透させていきたいと思っています。これからの当社の活動にどうぞご期待ください。



(写真) エアローズ

さて、六ヶ所村尾駱沼北側レイクサイドに位置する当社事業所は、花卉栽培の先進国でありますデンマーク企業の自動栽培システム

を採用した温室花卉栽培施設であり、植え付けから出荷まで、温度と光量をコントロールし、自動灌水システムと自動溶液供給システムにより品質管理しています。約2万㎡（幅88m、長さ231m）の温室施設は、年間約400万鉢の生産能力を持つ国内最大規模の花弁鉢物栽培施設です。

「むつ小川原開発地区」は国内有数の環境ビジネス企業の集積地ですが、当社も生活環境に大きく貢献できる環境企業であると自負しています。むつ小川原開発地区の立地企業の一員として、先輩企業の皆様に恥じないように、地域づくり国づくりに貢献していきたいと願っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

## む つ 小 川 原 I N F O R M A T I O N

### 土地のご購入、賃貸、一時使用等に関するご相談

新むつ小川原株式会社 青森本部  
〒039-3114 青森県上北郡野辺地町字助佐小路12-1  
TEL 0175-64-1063 FAX 0175-64-1178

### ご視察に関するお問い合わせ

むつ小川原開発地区は首都圏や関西圏からの日帰りビジネスが可能です。弊社にて現地案内を承っておりますので、ぜひ一度ご視察ください。お問い合わせはページ下部【編集・発行】に記載の連絡先へお願いいたします。また、[視察モデルコース](#)をホームページにてご紹介しております。

### 新むつ小川原株式会社ホームページ

<https://www.shinmutsu.co.jp/>にて下記のコンテンツほか弊社情報を随時公開中です。

- 「[むつ小川原だより](#)」バックナンバー
- [イントロダクションムービー](#)
- 創立20周年記念誌『[SMO VISIONARY BOOK ―未来を創造する6つのメッセージ](#)』

むつ小川原だよりVol.4

【編集・発行】新むつ小川原株式会社(SMO) 企画営業本部  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館20階  
TEL 03-5218-0062 Email [SMO62\\_kikaku@shinmutsu.co.jp](mailto:SMO62_kikaku@shinmutsu.co.jp)

◎立地企業の皆様へ◎

むつ小川原開発地区での取組みを「むつ小川原だより」で発信してみませんか。  
ご希望の方は上記電話番号またはメールアドレスへぜひご連絡ください。



マスコットキャラクター  
むつりん